

クレジット発行までの手続き

クレジットが発行されるまでには、「プロジェクトの登録」と「モニタリングの登録」の主に二つの手続きが必要となり、またそれぞれに作成支援と審査費用支援があります。

STEP 1 プロジェクトの登録

プロジェクト
計画書の作成

※作成支援を受けられます **A**

審査機関による
プロジェクト計画書の審査

※審査費用支援を受けられます **B**

プロジェクト
計画書登録申請

STEP 2 モニタリング(CO₂削減活動の実施)登録

モニタリング
報告書の作成

※作成支援を受けられます **A**

審査機関による
モニタリング報告書の検証

※審査費用支援を受けられます **B**

クレジットの
認証・発行

J-クレジット制度 支援制度

A 作成支援(プロジェクト計画書 及び モニタリング報告書の作成支援)

- ◆環境省と経済産業省から委託を受けた、作成支援機関が支援を行います。
- ◆支援にあたっては、各地域に地域型(各経産局委託)の窓口を設けているほか、全国型(環境省委託)の窓口も設けています。
(全国型では、プログラム型など地域をまたがる案件を支援します。また農業および森林管理プロジェクトについては、地域に限らず全国型で支援します。)
- ◆主な採択基準は、事業の実施方針/実施方法の具体性・確実性/費用対効果等です。
- ◆詳細は下記支援機関にお問い合わせください。

全国型 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 東京支社 03-6733-3400

東北 カーボンフリーコンサルティング株式会社 東北支社
(カーボンフリーネットワーク株式会社内) 022-281-9320

B 審査費用支援(妥当性確認及び検証の審査費用支援)

- ◆詳細は下記機関にお問い合わせください。

J-クレジット制度ホームページ(支援制度)

<http://japancredit.go.jp/menu02/support.html>

お問い合わせ先

パンフレットについてのお問い合わせ

山形県環境科学センター事業受託者 特定非営利活動法人環境ネットやまがた
〒995-0024 村山市楯岡笛田3丁目2番1号 TEL:0237-52-3132 FAX:0237-52-3134

カーボン・オフセット制度ホームページ

カーボン・オフセットフォーラム(J-COF): <http://www.j-cof.go.jp/>

J-クレジット制度全般に関するお問い合わせ

J-クレジット制度ホームページ(お問い合わせ一覧)

<http://japancredit.go.jp/menu04/contact.html>



このパンフレットの作成に係る二酸化炭素排出量の一部をカーボン・オフセットしています。

カーボン・オフセット & J-クレジット制度

導入ミニガイド

このミニガイドは、山形県内の企業や団体等の方に「カーボン・オフセット」や「J-クレジット制度」をより知ってもらうため、この制度をはじめて知ったという方にもわかりやすくまとめました。
企業活動・自社商品のPRがしたい、省エネ設備への更新を考えている、環境に貢献したい、企業・団体等の方に、「カーボン・オフセット」と「J-クレジット制度」をご紹介します。

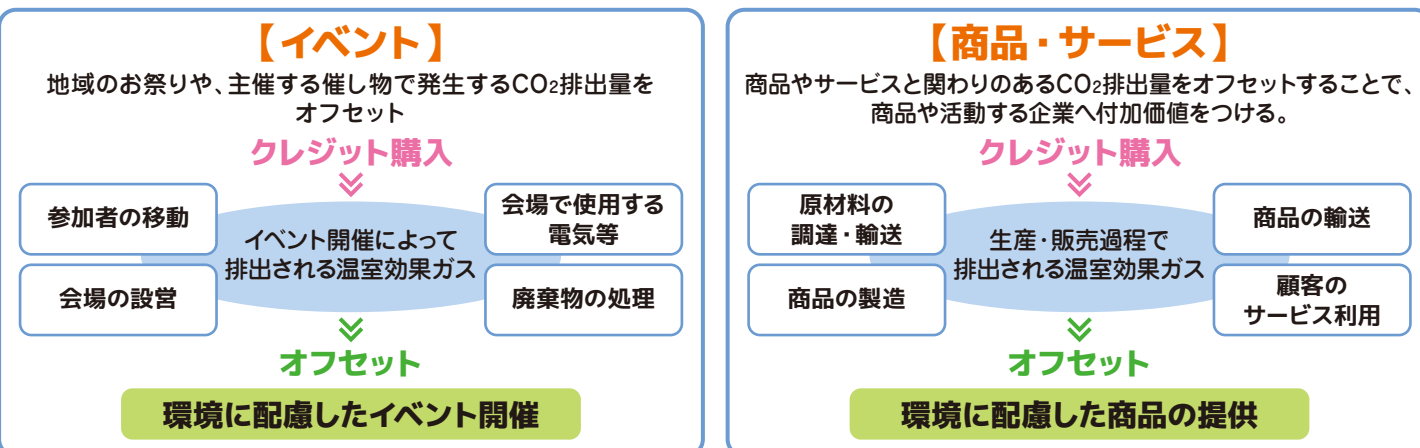
Q カarbon・オフセットとは?

企業活動や商品の製造、サービスの提供などによって排出してしまう温室効果ガスの排出量のうち、どうしても削減できない量の全部または一部を、他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)するというものです。

カーボン・オフセットの仕組み



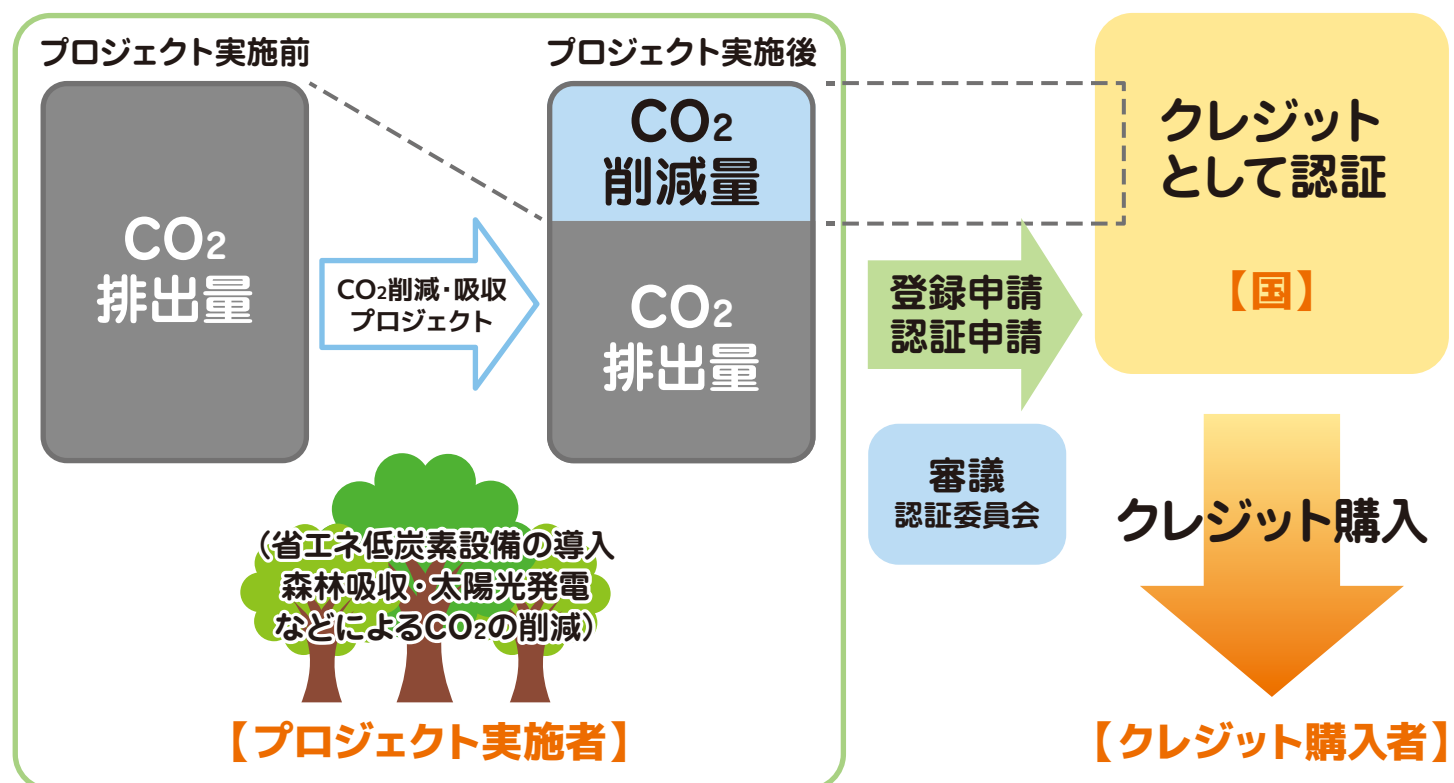
カーボン・オフセット活用例



Q J-クレジット制度とは？

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によるCO₂の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂の吸収量を、クレジットとして国が認証する制度です。

J-クレジット制度におけるクレジット認証・購入までのながれ



認証されたクレジットは、専用口座にて売買することができ、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、さまざまな用途に活用できます。また、クレジット購入代金は、クレジット創出者に還元され、さらなるCO₂排出削減／吸収の取り組みや、地域活性化等に活かすことができます。

創出者のメリット

ランニングコストの低減

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によるランニングコストの低減

クレジット売却益

クレジットの売却益によって、投資費用の回収や更なる省エネ投資に活用

地球温暖化対策への取り組みに対するPR効果

自主的な環境への貢献により、企業のイメージアップ、企業価値の向上に繋がります。

新たなネットワークの構築

地元有缘の深い企業や地方公共団体との新しいネットワークに繋がります。

購入者のメリット

カーボン・オフセットなどへの活用

環境への貢献をPRし、企業や製品の差別化、ブランディングに利用可能です。

温対法での活用

地球温暖化対策推進法の調整後CO₂排出量の報告に利用可能です。

省エネ法での活用

省エネルギー事業によるクレジットを、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の共同省エネルギー事業の報告に利用可能です。

低炭素社会実行計画の目標達成のための活用

2020年のCO₂削減の数値目標を設定した低炭素社会実行計画の目標達成に利用が可能です。

カーボン・オフセット & J-クレジット事例

−3,373t
CO₂



カーボン・オフセット & 森林吸収クレジット

白神山麓・八峰町有林 J-VERプロジェクト

〜カーボン・オフセットの活用で自然の再生〜

秋田県 八峰町

「白神山麓・八峰町有林J-VERプロジェクト」は八峰町が取り組む森林吸収クレジットです。このプロジェクトにより、平成19～22年度に八峰町有林の間伐を行った（間伐面積295.25ha）ことで吸収・固定されたCO₂吸収量が、環境省オフセット・クレジット（J-VER）の認証を取得。4年間のCO₂吸収量3,373tをクレジット化しています。特産品であるしいたけをつくる過程で出る規格外品のしいたけに、そのクレジットを付属させた商品を「八峰美人」としてブランド化し、東京等、首都圏で行われるイベントなどに展覧・販売。地元特産品の販売促進とクレジットの活用を行っています。

※J-VERとは：2008年からはじまった、国内で実施されるプロジェクトによる削減・吸収量を、オフセット用クレジットとして認証する制度です。平成25年度より、国内クレジット制度とオフセット・クレジット（J-VER）制度が発展的に統合して現在のJ-クレジットになりました。

J-クレジット（削減クレジット）

松文産業株式会社 鶴岡工場 製織工場におけるボイラーの更新（重油ボイラー から LPGボイラーへ）

山形県 鶴岡市

松文産業株式会社は、ポリエステルなどの各種ファッション、生活関連織物の企画・開発・製造・販売を手掛ける、創立100年の歴史を持つ繊維企業です。

鶴岡工場では、製織をする過程で使用するボイラーを、重油ボイラーからLPGボイラーへ切り替え、そのCO₂削減分のクレジット化を計画しています。第1工場の重油ボイラーをLPGボイラーに更新。

1年間で82tのCO₂を削減、2020年までの6年間で合計492tのCO₂を削減しクレジット化する計画です。

原糸に撚りをかける撚糸。糸は元に戻ろうとする力が強いので、その撚りを戻らないよう蒸気で浸透させる「撚り止め」の工程。そこでどうしても必要な設備を、エコで省エネなものに更新し、クオリティの高さはそのままに、より効率的に、より環境にやさしいものづくりを行っています。

2020年度まで
−492t
CO₂

